|  |
| --- |
|  2023第1,2,3 RUTC答え25(24)(社)世界福音化伝道協会　www.weea.kr |
| 2023年6月17日週間祈りカード |
| △産業宣教根本の根を変えた237の人々(使2:9-11) | △レムナント伝道学私の空前絶後(Ⅱテモ2:1-7) | △核心私に臨んだ神の国(使1:3) | △散らされた弟子たち私の中に神殿を建てなさい(創1:27, Ⅰコリ3:16) |
| 重職者産業人が最後の働きとしてすることが金土日時代を開くことだ。神様がレムナントのためにメッセージを与えられたのだ。３団体、宗教団体、文化団体、レジャー産業する団体、塾（習い事）団体、堕落団体で、金土日時代を本格化するだろう。金土日時代に青年、青少年をひったくって行くことだ。□序論\_金土日時代集中ただ、ひたすら、専念　私たちが回復してレムナントがこれを回復するように助けるべき1.私を237化1)福音知る者=キリスト知る者　2)祈り知る者=神の国知る者3)みことば知る者=聖書全体に流れる3・9・3を知る者2.過去(運命)を変えなければならない。3.今日を変えること。レムナントが未来を準備すれば無条件に勝利4.未来も変えるべき。神様が与えられた永遠のことを握ること。5.私たちの本業は世界福音化する弟子だ。□本論\_ RT-産業人(重職者)必ず世界福音化するレムナントを作る産業人になるべき1.古くからのことを変えること(根)1)ユダヤ人、ローマ、弱小国-古くからの根を変えることができない2)三つの祭りは救い、聖霊の働き、天国の御座を説明すること3)カルバリの丘、オリーブ山、マルコの屋上の部屋で終わったこと2.神様の条件(少数の人)なぜ私たちは237時代を開いて237祝福を味わおうとするのか、神様の条件を見ること。根を変えた少数の人が世界福音化1)マタ28:16-20復活の主に会った(その御名で祈れば答え)2)使1:1- 8キリストが最後の出会いで与えられた完ぺきなメッセージ(3つのわざわい崩すキリスト、御座の力が臨む神の国、地の果てまで証人)3)使2:1-47マルコの屋上の部屋で聖霊を体験した3.世界を生かす産業人1)使2:9-11 15か国の産業人出席2)使13:1-4初めての宣教師派遣現場にいた産業人使16:6-10マケドニアで会った重要な産業人3)使19:21ローマまで、ロマ16:25-27神様が世々にわたって奥義がとこしえまである中に私たちの産業人を入れられたこと□結論\_根本根本を変える時間に答えが始まる。237時代、金土日時代を開かなければならない理由は、神様のみことばが必要で、神様のみことばでなければならないと信じる瞬間から始まるゆえ | □序論1.祈り持続-タラント- 3・9・3祈りを持続すれば発見できることがタラントだ。2.みことば成就-流れ-このときから、みことば成就の流れが見える。3.学業-答え-このとき、学業の答えが来る。順位より神様が与えられたことか、違うことなのかが重要だ。□本論\_みことばで私を編集、祈りで設計、伝道デザイン1.空前絶後の存在1)創45:1-5ヨセフ　2)出2:1-10モーセ3)Iサム3:1-19サムエル4)Iサム17:1-47ダビデ　5)エリシャ6)ダニエル　7)テモテ(パウロ)△彼らはどんなことも関係なかったし、80歳のとき、幼いとき、危機のとき、難しいときに悟った。2.みことば-祈り1)Ⅱテモ1:1-5テモテに涙を話した2)Ⅱテモ2:1-7みことばと祈りを分かるということ3)Ⅱテモ3:14-17幼いときに入ったことは必ず成就するようになっている。3.伝道運動(Ⅱテモ4:1-5)確実なのは、伝道運動を通じて見つけることだ。この中で「空前絶後」の答えが来る。□結論\_私たちはなぜ金土日時代を開かなければならないのか1.キブツ運動2.Black Diamond3.Think Tank,Round Table△彼らを超えなければならない。 | 金土日時代+核心+教会+ WRCをつなげなければならない。私に臨んだ神の国-最高の答え、答えの基本□序論\_奥義=御座=祈り世の中で誰も教えることができない奥義が御座の祝福だ。この部分を分かるとき、祈りを知るようになる。御座を味わう祈りが、私に答えとして来ることが御国だ。1.神様がくださった国1)創1:27神のかたち回復　　　2)創1:28征服して治める祝福3)創2:7人間に無限の力を吹き込まれた4)使2:17-18キリストが解決。これを回復すること2.サタンの国1)創3:4-5 「私」から始まり2)創6:4-5私のことになると思ったが、ネフィリムなった3)創11:1-8成功したと思ったが、バベルの塔今も続いているので実際に勝って味わうことを教えなければならない。3.三つの国の共存1)世の国(衣食住しか分からない)2)サタンの国(ヨハ16:11-14支配者の役割、Ⅱコリ4:4-5世の神) -これ分かれば自己主張できない。3)神の国(使1:3、マタ6:10、マタ10:7天の御国が近づいたと言いなさい。使1:1、3、8、黙21:1-22:21私たちが行かなければならない御座)□本論\_神の国の力を一度だけ体験しても弟子のアイデンティティが確立される1.恐れることはない。この祝福を味わう瞬間から見え始める。1)マタ28:16-20天と地の権威を知るようになって、時空超越が見える。2)マコ16:15-20私たちに与えられた鍵- 「わたしの名によって」3)使1:8見える未来-エルサレム(教会)、ユダヤ(隣)、サマリア(誤ったところに陥った者)を生かしなさい。地の果て(ローマ)まで行きなさい。2.みな受けた。それゆえ、弟子は何の利益も追求しない。1)マタ6:10(祈り)　 2)マタ10:7(神の国が臨んだことを話す伝道)3)使1:3(ミッション)、使19:8これが来なければ待てば良くて、見えるのに難しい状況なら挑戦しなさい。3.より多くのことが残っている。それを分かるので、弟子は速断しない。1)使11:19患難のときに建てたアンティオキア教会2)使13:1-4みことばが宣言されて初めて成された自発的宣教3)使16:6-10無応答の時間に最も良いことが成される。皆さんは、ここで祈るが、神様は皆さんの産業の場に天の軍勢を送って働かれる。4)会堂へ　5)ローマへ□結論\_神様のこと私のこと、私の考えは助けにならない。神様の力、水準、基準が祈りの結論だ。 | 「信仰生活どのようにしなければならないのですか」私の中に神殿を建てなさい(創1:27、Iコリ3:16)。これが答えだ。□本論1.皆さん1人なら-時代を変えることができる。RT 7が代表的だ。2.ペテロ1人のゆえに-教会が(使2:14-21)生かされることが起こったが、何が成就したのか1)ヨハ14:16 「わたしが行けばあなたがたに、教会に助け主聖霊を送る」2)ヨハ14:26、16:13 「すべてのことを思い出させる」「わたしが教えたことを悟らせる」3)ヨハ20:22、使1:8 「聖霊を受けなさい」「しかし（ただ）聖霊が臨めば、地の果てまで証人となります」この約束がそのまま成就した。3.パウロ-宣教使9:15 「イスラエルと異邦人と王たちの前に立てるために選んだわたしの器だ」そのまま宣教の門が開かれた。1)ガラ2:20、Ⅱコリ5:17さらに高い次元、新しい被造物だ2)Iコリ3:16 「あなたがたが神の宮」3)ピリ3:1-21そうすると、目が開かれた。「万物を服従させる名が私たちに与えられた」□結論\_皆さんは講師、先生でなく証人だ。(使1:8) |
| 2023第1,2,3 RUTC答え25(25)(社)世界福音化伝道協会　www.weea.kr |
| 2023年6月18日　週間祈りカード |
| △区域メッセージ（第25週）神の国の摂理と25 の答え(ヘブ9:27-28) | △聖日1部礼拝信徒の生活の基準(Ⅰコリ10:23-33) | △聖日2部礼拝/新しい家族献身礼拝最高の賜物(Ⅰコリ13:11-13) |
| 神様の摂理は、神様が予定されたことを成し遂げていかれることで、25の答えはイエス様がオリーブ山の契約以降、初代教会が世の中を生かすことができる大きい力を受けたこと。□序論1.限りある人生-神様が定められたことで、私たちは傲慢になる理由も、落胆する理由もない。2.この地で生きるのは一度の人生だ。3.今日は一日だけ、それゆえ「神様が願われること」をすれば良い□本論1.聖書-世界観1)世の国　人々は衣食住しか知らない。2)サタンの国(創3、6、11章)が世の国をとらえて人間を崩そうとするのだ。3)神の国(3・9・3) -キリストを送って三位一体の神様が、私たちとともにいるようにされたのだ。御座の祝福を味わって未来を心配してはならない。3時代(過去・現在・未来)を祝福すると約束された2.終末1)ひとりの祈りは、ものすごいのだ。個人が神様の時刻表によって終末が来る。個人の終末の次に次世代にまた、皆さんの未来に働くようになっている。2)時代の終末-時代ごとに終わりがある。私たちは霊的に時代を見て、教会が門を閉める時代を防いで、金土日時代を通じて私たちと私たちの次世代が祈れるようにしなければならない。3)地球の終末-聖書に預言されているが、いよいよ学者が地球の終末を証明している。3.準備-限りのある人生に対する準備するのだ。1)レムナント-答え受けようとせずに着実に未来の準備をするのだ。2)青年-現場を生かす準備をしなければならない。私たちは現場宣教師だ。3)老年-次世代を育てる準備をするのだ。□結論\_ 7大旅程1.Trinity -三位一体の神様が働かれる所へ行くことが私たちの旅程だ。私たちは三位一体の神様がみことばで、救いで、力で働かれる所に行かなければならない。2.10奥義-どんな危機の中にも生き残る10の奥義は、私たちが考える反対側に神様が答えをくださるのだ。3.10土台-いろいろな揺れることが多いが、土台として行くのだ。4.5確信-人生に最も重要な5か所に確信が来る。5.9流れ-世の中の多くの部分を戦わないで変えるのだ。6.答え(62) -聖書でおよそ62を見つけたが、一生の答えが見えるのだ。7.キャンプ(御座) -最後に残った旅程だ。私たちのすべてのことは、御座の祝福を味わうキャンプだ | □序論\_最悪の中に最高の答えが入っている。1.聖書は神様のみことばなのに、どのように私に臨むかを分からない-聖書は三つで現れている。1)未信者が見ても良い部分　2)信徒が見なければならない部分-キリストの血で救われること3)霊的世界に深みがある人々だけがわかる部分-最悪の中に最高の答えが入っていること2.先に確認しなければならない三つ1)さまざまな問題にだまされてはならない。2)捨てること-私の心に合うみことばを聞くのではなく、神様が願われるみことばを聞くべき。3)見つけること-神様が何の意味でこのみことばを与えられたのかを見つければ、そのとき、最高の答えが隠されていることが見える。3.おかしな問題がたくさん起こったコリント教会で、最高の弟子であるプリスカ夫婦が出てきた。1)コリント教会の問題にだまされないで、世界福音化の答えを得たプリスカ夫婦(1)信徒の生活の基準-神様の栄光のために(2)近親相姦問題-あなたがたは神の宮、宮を汚してはならない。2)私の事業はただ世界福音化のために使うという神様との裏面契約が発見できたその日から、本当の働きが始まったプリスカ夫婦□本論\_裏面契約1.みことばと神様の力で暗闇のやぐらを崩しなさい1)使2:10、Ⅱコリ10:4マルコの屋上の部屋がプリスカ夫婦の始まり-神様は自分と家庭と産業を揺さぶるサタンのやぐら、2)使18:1-4パウロに会って両国の暗闇やぐら、3)使18:20-28レムナントにある暗闇のやぐらを崩された。2.神様のやぐらを建てたこと1)Iコリ1:18十字架のことば-運命をひっくり返すやぐら2)Iコリ2:12神様からの御霊を受けた者-困難を受けるたびに百年の答え3)Iコリ3:16神様の宮-生きたささげ物4)Iコリ4:1-2キリストのしもべ、神様の奥義の管理人-世の中が見る信徒5)Iコリ10:31何をしても神様の栄光を基準として置きなさい。3.見張り人のやぐらを建てたこと1)使19:21 「ローマも見なければならない」このメッセージを最もよくわかった人2)ロマ16:3-4同労者、自分のいのちを危険にさらした人々3)ロマ16:25-27世々にわたって隠されていて、今や明らかにされたこと□結論\_皆さん1人でもプリスカ夫婦のように悟れば、最高の答えを見つけることができる。※エペ4:25-27紛争、不信仰すれば、その機会を利用して暗闇勢力が押し寄せる。一週間、答えを受けるしかない契約をはっきりと握って行って祈り始めるのだ。 | □序論\_新しい家族が必ず記憶しなければならないこと1.脳+たましい+御座-脳には無尽蔵な神様の奥義が入っている。たましいがみことばといのちの力を得れば無限大だ。これが永遠とつながるのに私たちの背景は御座だ。2.3・9・3刻印(根、体質)-三位一体の神様が私たちを救って創造と救い、力の働きで、御座の力でともにおられるということと、皆さんの過去・現在・未来を生かす時代の使命が刻印・根・体質になれば無限大の力と答えを見つけ出すようになる。3.祈り-生活を持ってリズムに乗ることになる。聖日礼拝は「霊的呼吸でいのちと力を受けること」 -正確な答えがいつも出て来る。このとき、プレゼントとして賜物を与えられる。1.一般賜物で伝道するようにさせて証人になるようにさせる。2.霊的賜物で霊的なことを助けるようにさせる。3.特別賜物で主の働きをするようにさせる。最高の賜物-信仰(働き)、希望(忍耐)、愛(感謝で献身することができる)愛-その中で一番は愛ストルゲー-家族、フィリア-友人、エロス-恋人間で使う単語だ。全部条件がある。アガペー-無条件の神様の愛-これが新しい家族に必要□本論\_なぜ1.神様は私たちを暗闇から救われた。1)罪、呪い、わざわい、死、サタンの権威から解放　2)救い　3)権威を与えてくださった。△これを本当に味わって悟る人は肉的戦いは必要ない。億万の罪悪から救われたが、他の人の小さい誤りも理解できないのか。2.他の暗闇に陥った者を救い出さなければならない。1)創3・6・11章の落とし穴　2)シャーマニズム・占術・偶像の枠3)サタンの罠にかかった人を救い出すべき△沼に落ちた者を無条件にはやく綱を投げて引き上げるべき3.アガペーの愛が最も大きい力1)最高の力　2)最高の賜物(13節)　3)最高の祝福□結論1.祭壇を築きなさい。創13:18アブラハム、ダニ6:10危機の中で一日三回ずつ祭壇を築いたダニエル(ヨハ19:30カルバリの丘で完了した。できない、そこが祝福の始まり使1:3オリーブ山-祈りを継続すれば神の国のこと成り立つ。使2:1-18マルコの屋上の部屋の答えが来る。)2.患者-最も科学的、医学的にしながら根本的ないのちと力を得る霊的なことを見つけ出さなければならない。3.三つの庭を見つけるようにしなければならない。△失った一匹の羊を探す愛、なくしたドラクマ一つを探す愛、家出した息子を毎日待ってうれしく受け入れた父の愛 |